

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

研究課題名：乳腺婦人科腫瘍における Met 遺伝子の役割の解析

研究代表者：長坂徹郎（名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学講座）

1. 研究の意義と目的

これまでに私たちの研究グループは、酸化ストレスが関与する卵巣明細胞性腺癌の発癌過程に Met 遺伝子の増幅が関与することを明らかにしてきました。今回、症例数を増やした共同研究を行うとともに、他の乳腺、婦人科腫瘍における Met 遺伝子の増幅について調べる研究を計画しました。さまざまな腫瘍における Met 遺伝子の増幅の正確な頻度が明らかとなれば、Met を標的とした分子標的治療への応用が期待されます。

2. 研究の対象

共同研究施設である名古屋市立大学病院とその関連施設の乳腺、婦人科腫瘍の症例の中からトリプルネガティブ乳癌 100 名、卵巣明細胞癌 100 名、子宮内膜明細胞腺癌 20 名を、対照として乳癌 50 名、他の組織型の卵巣癌 50 名、他の組織型の子宮内膜癌 20 名と正常コントロール 2-3 名を選定し、研究の対象とします。

3. 研究の方法

診断、治療を目的として採取された腫瘍組織の病理パラフィンブロックから DNA を採取し、定量 PCR や次世代シーケンサーを用いてコピー数を解析します。またブロックからプレパラートを作成し、fluorescence in situ hybridization (FISH) 法や免疫染色などによる解析も行います。次にそうしたデータと各組織型による差異や、臨床情報による転帰、予後との関連を統計学的に比較し、有意な所見がないか検討します。

4. 個人情報の保護について

情報は連結可能匿名化を行い、パスワードロックのついたハードディスクに保管します。連結表は別のパスワード保護を行ったハードディスクに保管します。病理検体（ブロック等）には個人が特定できる情報は記載されておらず、匿名化によって提供者のものであることがわからないようにします。

5. 研究成果の公表

本研究成果は、提供者本人の氏名が明らかにならないようにした上で、学会や学術雑誌等に発表されることがあります。また、本研究の臨床的な意義は、まだ確立されておらず、この研究成果が提供者の治療に直接反映される可能性がないこと、匿名化された状態で解析を行うことから、本研究上の個人の検査結果に関する開示は行いません。

6. お問い合わせ先

名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学講座 長坂徹郎

連絡先：名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学講座

〒461-8673

名古屋市東区大幸南 1-1-20

TEL 052-719-3152、 FAX 052-719-3152

苦情等の受付先：名古屋大学医学部総務課 TEL 052-744-1901